

新年を祝って
舞を披露

元目縁起もちつき

1/1

1月1日(土)、泉源公園(登別温泉町)で『元目縁起もちつき』(社登別観光協会主催)が行われ、郷土芸能『子宝もちつき舞い』が披露されました。

『子宝もちつき舞い』は、子宝・安産、夫婦円満、家内安全を祈願するもので、4人のつき手が笛や太鼓の音色のはやしに合わせて餅をつき、空にきねを放り投げ、交換しながら舞う姿に、約500人の市民や観光客から歓声や拍手が沸き起こりました。

餅は『お汁粉』として振る舞われ、市民や観光客は冷えた体を温めていました。



▲入賞作品を試食する来場者

のぼりべつの
家庭の味集結!

1/13

第34回つけものフェスティバル

1月13日(木)、市民会館中ホールで『第34回つけものフェスティバル』(同実行委員会主催)が開催され、かす漬け部門やぬか漬け部門、アイデア漬け部門などの6部門に52人から59点の漬物が出展されました。

出展された漬物は、町内会や各種団体の代表、市内の高校生などの審査員により各部門ごとに審査され、入賞作品が選ばれました。

表彰式の後には出品品の試食が行われ、来場者は大根やカブ、セロリ、トマトなど個性豊かな漬物に舌鼓を打ち、『つけもの』の素晴らしさを改めて実感していました。



▲観客に披露された『子宝もちつき舞い』

梯子上で繰り出す
妙技に拍手喝采

1/7

平成23年登別市消防出初式

1月7日(金)、市民会館で『平成23年登別市消防出初式』(市主催)が行われ、消防職員や消防団員など約150人が参加しました。

式では、市長が観閲のもと消防職員や消防車両などによる分列行進が屋外で行われたほか、大ホールでは、西胆振鳶土木工事業連組合の方がたによる『木遣り唄』や『纏い振り』、『梯子乗り』などの伝統芸が披露されました。

梯子乗りでは、同連合会『若鳶会』の方がたが、高さ約6mの梯子の上で『腕だめ』や『肝つぶし』、『胴鯨』、『八艘』などの妙技を繰り出すたび、出席者や観客から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。



▲西胆振鳶土木工事業連組合の方による華麗な梯子乗り